

目次

★ 年末年始のお願い	P1
★ 発生動向総覧	P2~4
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P5
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P5~6
★ 全数把握感染症集計表	P7
★ 定点把握感染症集計表	P8~12
★ 定点把握感染症推移グラフ	P13~17
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P18~21
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P22~23
★ インフルエンザの流行状況、注意喚起	P24~26
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P27~

年末年始のお願い

インフルエンザ, コロナ, 咽頭結膜熱,
溶連菌感染症, 感染性胃腸炎 流行中

1. 忘年会・新年会・親類・友人の集まりは、
のどが痛い, 熱っぽい, 咳・鼻水・吐き気
があるなど, 体調不良者は参加しない
2. 帰宅時, 食事の前, トイレの後など, こま
めに, 石けんと流水で30秒の手洗いを

帰省先でも **高齢者** や **持病のある方** を

守るアクションを!

- ・ **高齢者** や **持病のある方** がいる
屋内では, **マスク** と **良好換気**
- ・ **高齢者** や **持病のある方** は, **ワク
チン** 検討と **マスク**, **手洗い** 励行



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(熱海(1)、中部(1))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 つつが虫病(浜松市(1))、レジオネラ症(浜松市(1))
- 5類感染症 後天性免疫不全症候群(浜松市(1))、侵襲性肺炎球菌感染症(西部(1))
梅毒(浜松市(1))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第51週(12/18~12/24)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

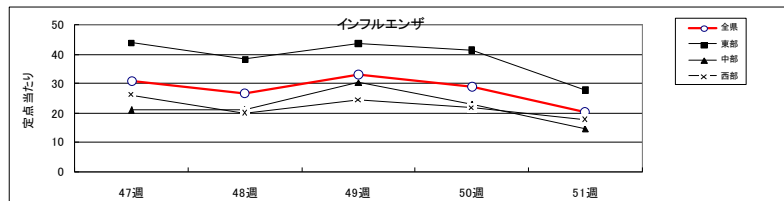
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第51週(12/18~12/24)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が20.37人となり、前週の29.08人から減少しました。第47週(11/20~11/26)から警報レベルの状況が続いています。

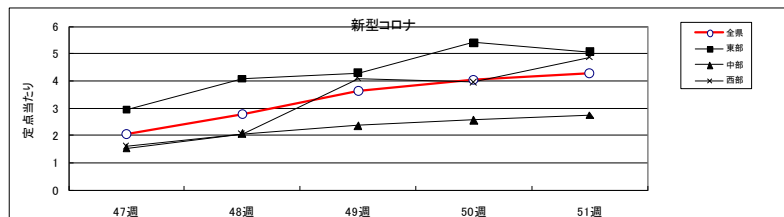
【インフルエンザ】

全県で罹患数2,832、定点当たり20.37の患者発生があり、前週の29.08から減少した。定点当たりは、東部地区で27.86、中部地区で14.57、西部地区で17.6の発生があった。全県では、警報レベルの状況が続いている。



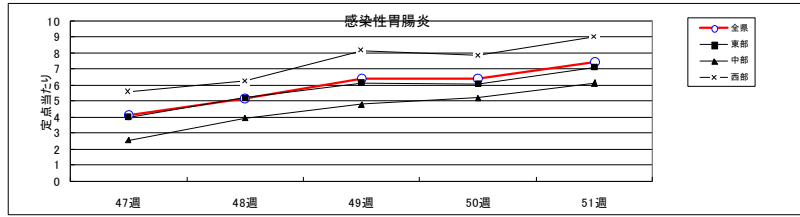
【新型コロナ】

全県で罹患数596、定点当たり4.29の患者発生があり、前週の4.05から増加した。定点当たり東部地区で5.06、中部地区で2.74、西部地区で4.85の患者が発生した。



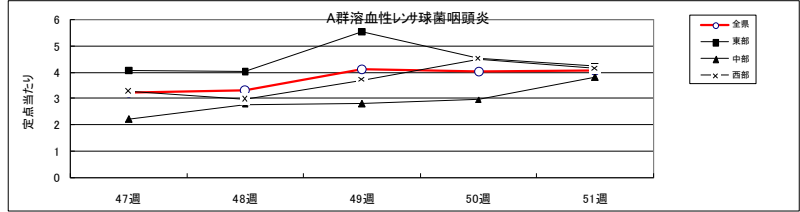
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数661、定点当たり7.43の患者発生があり、前週の6.38から増加した。定点当たり東部地区で7.09、中部地区で6.11、西部地区で8.97の患者が発生した。



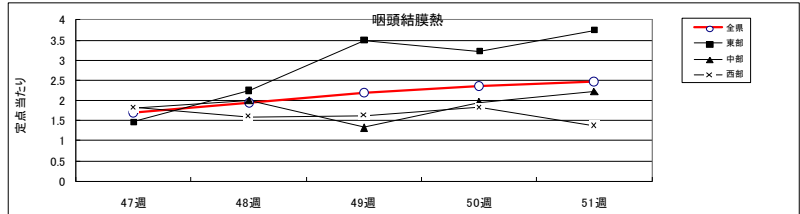
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数362、定点当たり4.07の患者発生があり、前週の4.04から僅かながら増加した。定点当たり東部地区で4.22、中部地区で3.81、西部地区で4.13の患者が発生した。



【咽頭結膜熱】

全県で罹患数221、定点当たり2.48の患者発生があり、前週の2.37から増加した。定点当たり東部地区で3.75、中部地区で2.22、西部地区で1.37の患者が発生した。

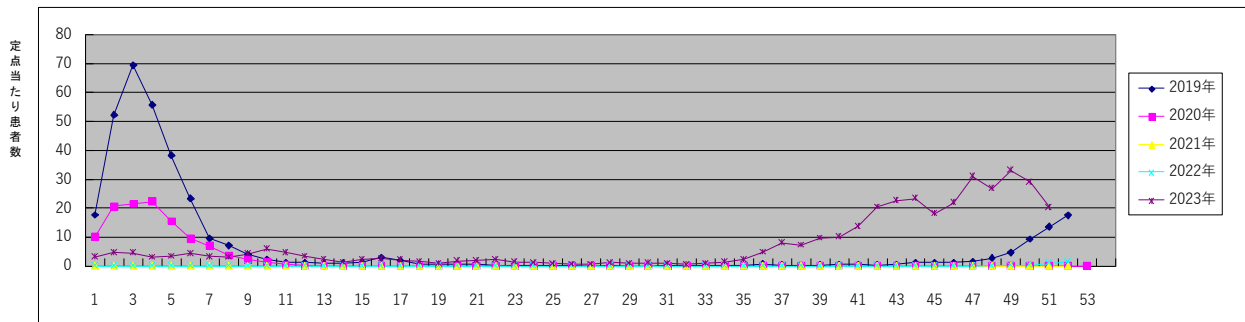


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は29.94で前週の33.72から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は47のままで推移、注意レベルの保健所を有する都道府県は43から36に減少した。

・静岡県において第50週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)インフルエンザ(29.08)、2)感染性胃腸炎(6.38)、3)新型コロナウイルス(4.05)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.04)、5)咽頭結膜熱(2.37)、6)流行性角結膜炎(0.45)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

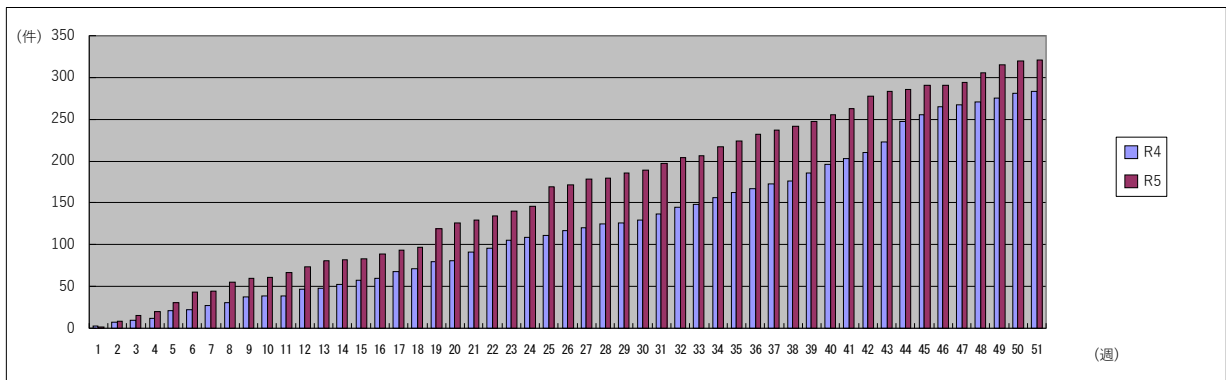


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024シーズン)】 (令和5年第40週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週	静岡県	8	6		
	静岡市	1	1		
	浜松市				
R5年 第41週	静岡県	5	4		
	静岡市				
	浜松市				
R5年 第42週	静岡県	2	8		
	静岡市	2	4		
	浜松市		1		
R5年 第43週	静岡県	2	5		
	静岡市	1			
	浜松市		4		
R5年 第44週	静岡県	1	7		
	静岡市	1	2		
	浜松市		1		
R5年 第45週	静岡県	2	6		
	静岡市		1		
	浜松市	1	4		
R5年 第46週	静岡県	2	2		
	静岡市				
	浜松市	1	5		
R5年 第47週	静岡県		4		
	静岡市	1	1		
	浜松市	2	5		2
R5年 第48週	静岡県	1	6		
	静岡市		2		
	浜松市	4	4		2
R5年 第49週	静岡県	5	4		
	静岡市		3		
	浜松市	2	6		1
R5年 第50週	静岡県	1	6		1
	静岡市		1		
	浜松市	1	8		
R5年 第51週	静岡県	2	7		
	静岡市	2	1		
	浜松市	1	7		
合 計		51	126	0	6

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第51週は前年同期比1.13倍の増加となった。



感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

- 警報 インフルエンザ(賀茂、東部、御殿場、富士、中部、西部)
咽頭結膜熱(東部、御殿場、静岡市、西部)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)
- 注意報 インフルエンザ(熱海、静岡市、浜松市)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第51週(令和5年12月18日～令和5年12月24日)

かわづクリニック(河津町)「インフルエンザA型 71名(今年2回目4名(1名8月、3名10月))」

高野医院(伊東市)「インフルエンザA型 10名、新型コロナ 23名」

むらかみ小児科クリニック(伊東市)「インフルエンザA型 17名」

伊東市民病院(伊東市)「インフルエンザA型 3名」

よざ小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 29名、新型コロナウイルス 1名」

光ヶ丘小児科(三島市)「インフルエンザA型 104名、インフルエンザB型 3名、新型コロナ 5名、ノロ 1名、腸管アデノ 2名、咽頭アデノ 5名」

クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 24名」

白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 48名、インフルエンザB型 2名」

函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ 3名、インフルエンザA型 66名、インフルエンザB型 2名、ノロ 1名、溶連菌 24名、手足口病 1名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザA型 23名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 112名、インフルエンザB型 20名、ノロウイルス 2名(10か月男児1名、1歳女児1名)」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 48名、インフルエンザB型 4名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 97名、インフルエンザB型 4名、新型コロナ 22名」

お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型 10名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 108名、新型コロナ 24名」

木村内科医院(富士市)「インフルエンザ 1名」

共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 17名、新型コロナ 18名」

共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 7名、新型コロナ 2名」

幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ 36名、新型コロナ 11名」

聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザA型 4名、新型コロナ 6名」

瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 40名、新型コロナ 1名」

田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 86名、新型コロナ 8名」

谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 35名、新型コロナ 1名」

永松医院(富士宮市)「インフルエンザ 3名、新型コロナ 2名」

南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「インフルエンザ 5名」

平野医院(富士市)「インフルエンザ 4名、新型コロナ 2名」
 富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 14名、新型コロナ 2名」
 富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 5名、新型コロナ 2名」
 三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 48名、新型コロナ 4名」
 ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザA型 25名、インフルエンザB型 1名」
 伊藤医院(湖西市)「インフルエンザA型 11名」
 きもと小児科(湖西市)「インフルエンザA型 36名」
 浜松医療センター(浜松市)「アデノウイルス 1名、ヒトメタニューモ 2名」
 クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 3名、咽頭アデノ 9名、インフルエンザA型 42名、インフルエンザB型 9名」
 げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 21名、インフルエンザB型 3名」
 いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 26名、インフルエンザB型 9名」
 幸田子供クリニック(浜松市)「インフルエンザA型 14名、インフルエンザB型 1名」
 天童こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 2名、インフルエンザA型 44名、インフルエンザB型 13名」
 春野診療所(浜松市)「インフルエンザA型 1名」
 小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 5名」
 金指こどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 2名」
 縣医院(浜松市)「インフルエンザA型 22名」
 おおば小児科(浜松市)「インフルエンザA型 50名、インフルエンザB型 13名」
 くまがいクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 16名、インフルエンザB型 4名」
 鈴木診療院(浜松市)「インフルエンザA型 3名」
 みかえ内科クリニック(浜松市)「インフルエンザA型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(2023-2024 シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	26,713名	98.5%
インフルエンザB型	415名	1.5%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症情報センター」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国					
		46週	47週	48週	49週	50週	今週	年累計	48週	49週	50週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		3	4	4	5	7	2	336	279	233	268	271	14,407
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													2
細菌性赤痢									4	2	1	1	46
腸管出血性大腸菌感染症		11		1	1			87	64	38	40	42	3,787
腸チフス										1			37
パラチフス									1				9
E型肝炎								6	11	9	11	9	532
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎											2	2	54
エキノкокクス症													13
エムボックス								1	1	1	2		224
賞熱													
オウム病													8
オムスク出血熱													
回帰熱										1	1		23
キャサスル森林病													
Q熱												1	1
狂犬病													
コクシジオイデス症									1				4
ジカウイルス感染症											1		2
重症熱性血小板減少症候群								3					131
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テングニア熱													7
つつが虫病			1	1	1	1	7	53	46	34	20	412	
デング熱			1				3	7	3	1	5	172	
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱							7	3	2				501
日本脳炎							1						6
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													2
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										2	1		35
野兔病													
ライム病													29
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症			1		1		1	60	37	34	35	36	2,240
レプトスピラ症													49
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢								11	3	9	10	8	479
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)			2					4	5		3	6	239
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								23	34	28	28	29	2,065
急性弛緩性麻痺												1	56
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)			1	3	2			33	12	14	12	12	624
クリプトスポリジウム症										1			14
クロイツフェルト・ヤコブ病								7	2	1	2	1	159
劇症型溶血性レンサ球菌感染症								26	13	21	23	27	908
後天性免疫不全症候群							1	16	7	11	16	14	922
ジアルジア症								2			1		38
侵襲性インフルエンザ菌感染症			2					13	6	11	11	11	544
侵襲性髄膜炎菌感染症											3	1	21
侵襲性肺炎球菌感染症						1	1	36	49	50	45	48	1,893
水痘(入院例に限る)				4	1	1		21	13	11	5	7	394
先天性風しん症候群													
梅毒		1	3	5	4	4	1	321	180	192	207	184	14,661
播種性クリプトкокクス症								3	2	1	6	1	168
破傷風								3		1	1	1	106
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		13		1	2	3	113
百日咳					1			10	22	29	19	20	995
風しん									1			1	12
麻疹								2		2	1		28
薬剤耐性アシネトバクター感染症											1		15
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 51 週

	静岡県							全国				
	46週	47週	48週	49週	50週	今週	計	48週	49週	50週	今週	計
RSウイルス感染症	3	3	7	4	2	8	27	189	161	201	187	738
咽頭結膜熱	153	151	174	197	211	221	1,107	11,702	10,947	10,966	10,411	44,026
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	249	288	293	364	360	362	1,916	13,103	15,196	15,818	14,701	58,818
感染性胃腸炎	339	364	459	569	568	661	2,960	16,075	18,993	20,348	20,492	75,908
水痘	11	7	10	11	9	6	54	510	431	559	540	2,040
手足口病	31	30	21	17	10	8	117	1,579	1,441	1,406	1,194	5,620
伝染性紅斑		1					1	37	36	45	43	161
突発性発しん	16	15	17	28	25	23	124	738	653	652	651	2,694
ヘルパンギーナ	6	6	11	3	4	5	35	223	189	162	173	747
流行性耳下腺炎	3	2	1	2	2	4	14	103	85	107	107	402
インフルエンザ	3,055	4,303	3,730	4,599	4,042	2,832	22,561	132,117	166,690	147,858	114,126	560,791
新型コロナウイルス感染症	222	287	388	506	563	596	2,562	13,583	17,379	20,511	22,529	74,002
急性出血性結膜炎			1			1	2	5	9	12	12	38
流行性角結膜炎	10	16	9	17	10	23	85	738	742	679	714	2,873
細菌性髄膜炎	1				1		1	6	9	14	6	25
無菌性髄膜炎				3			3	13	13	18	13	44
マイコプラズマ肺炎			1	1			2	34	46	32	58	170
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1	1	1		3
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								2	2	8	5	17

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 51 週

	静岡県						全国			
	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	今週	第48週	第49週	第50週	今週
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.08	0.04	0.02	0.09	0.06	0.05	0.06	0.06
咽頭結膜熱	1.72	1.70	1.96	2.21	2.37	2.48	3.72	3.48	3.49	3.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.80	3.24	3.29	4.09	4.04	4.07	4.17	4.83	5.04	4.68
感染性胃腸炎	3.81	4.09	5.16	6.39	6.38	7.43	5.11	6.04	6.48	6.52
水痘	0.12	0.08	0.11	0.12	0.10	0.07	0.16	0.14	0.18	0.17
手足口病	0.35	0.34	0.24	0.19	0.11	0.09	0.50	0.46	0.45	0.38
伝染性紅斑		0.01					0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.18	0.17	0.19	0.31	0.28	0.26	0.23	0.21	0.21	0.21
ヘルパンギーナ	0.07	0.07	0.12	0.03	0.04	0.06	0.07	0.06	0.05	0.06
流行性耳下腺炎	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03
インフルエンザ	21.98	30.96	26.83	33.09	29.08	20.37	26.72	33.72	29.94	23.13
新型コロナウイルス感染症	1.60	2.06	2.79	3.64	4.05	4.29	2.75	3.52	4.15	4.57
急性出血性結膜炎			0.05			0.05	0.01	0.01	0.02	0.02
流行性角結膜炎	0.45	0.73	0.41	0.77	0.45	1.05	1.06	1.06	0.98	1.03
細菌性髄膜炎	0.10				0.10		0.01	0.02	0.03	0.01
無菌性髄膜炎				0.30			0.03	0.03	0.04	0.03
マイコプラズマ肺炎			0.10	0.10			0.07	0.10	0.07	0.12
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	0.00	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.00	0.00	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 51 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	8	0.09	221	2.48	362	4.07	661	7.43	6	0.07
賀茂			1	0.50			1	0.50		
熱海			7	1.75	5	1.25				
東部	1	0.08	63	4.85	59	4.54	126	9.69	3	0.23
御殿場	5	1.25	36	9.00	45	11.25	74	18.50		
富士			13	1.44	26	2.89	26	2.89		
静岡市			50	3.13	49	3.06	102	6.38	2	0.13
中部			10	0.91	54	4.91	63	5.73		
西部	1	0.08	26	2.17	27	2.25	103	8.58	1	0.08
浜松市	1	0.06	15	0.83	97	5.39	166	9.22		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	8	0.09	0		23	0.26	5	0.06	4	0.04
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部	4	0.31			4	0.31	1	0.08		
御殿場										
富士							1	0.11	1	0.11
静岡市	1	0.06			3	0.19				
中部					5	0.45	2	0.18	1	0.09
西部	1	0.08			2	0.17	1	0.08	1	0.08
浜松市	2	0.11			8	0.44			1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	2832	20.37	596	4.29	0	2	0	0	89	50
賀茂	93	31.00	9	3.00					2	1
熱海	67	11.17	50	8.33					4	2
東部	489	24.45	37	1.85					13	7
御殿場	331	55.17	74	12.33					4	2
富士	413	27.53	83	5.53					9	6
静岡市	335	13.40	61	2.44					16	9
中部	277	16.29	54	3.18					11	6
西部	329	17.32	136	7.16		1			12	7
浜松市	498	17.79	92	3.29		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 51 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.05	23	1.05	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部			3	0.75						
御殿場										
富士			4	1.33						
静岡市			5	1.00						
中部	1	0.33	3	1.00						
西部										
浜松市			8	2.67						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

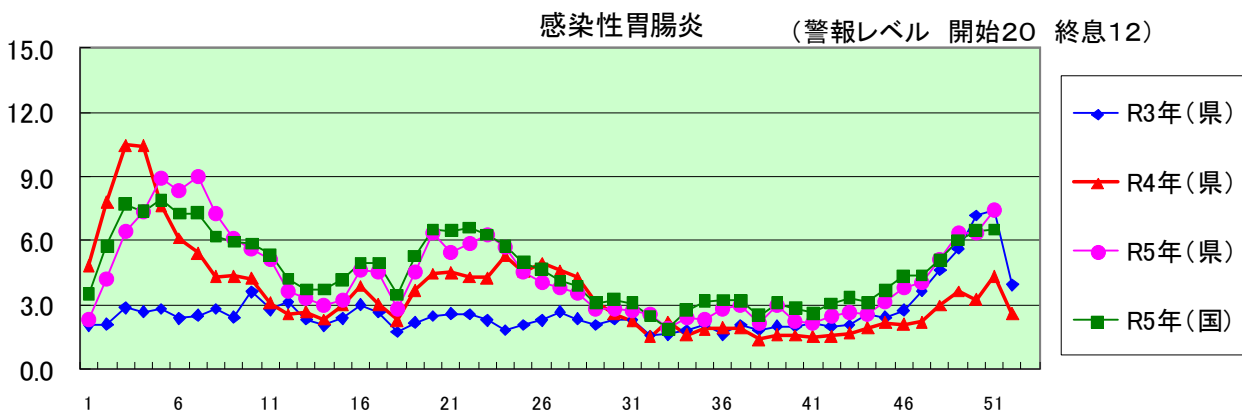
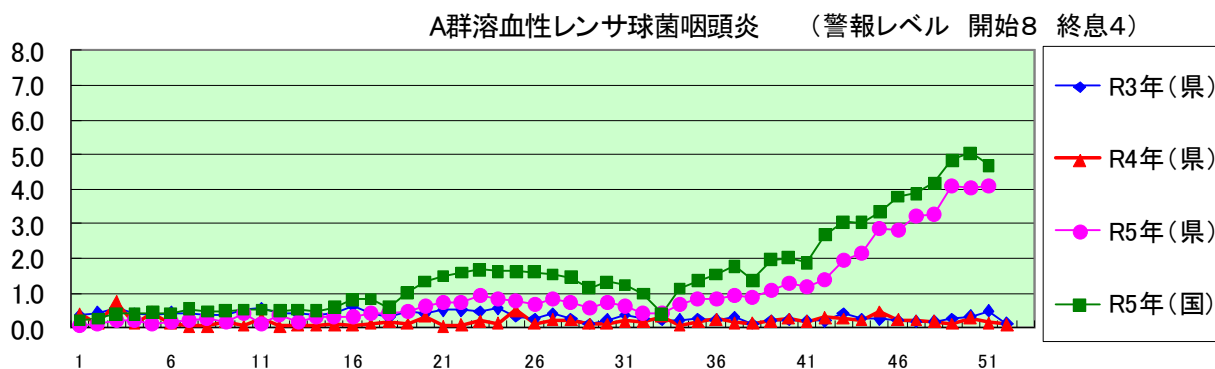
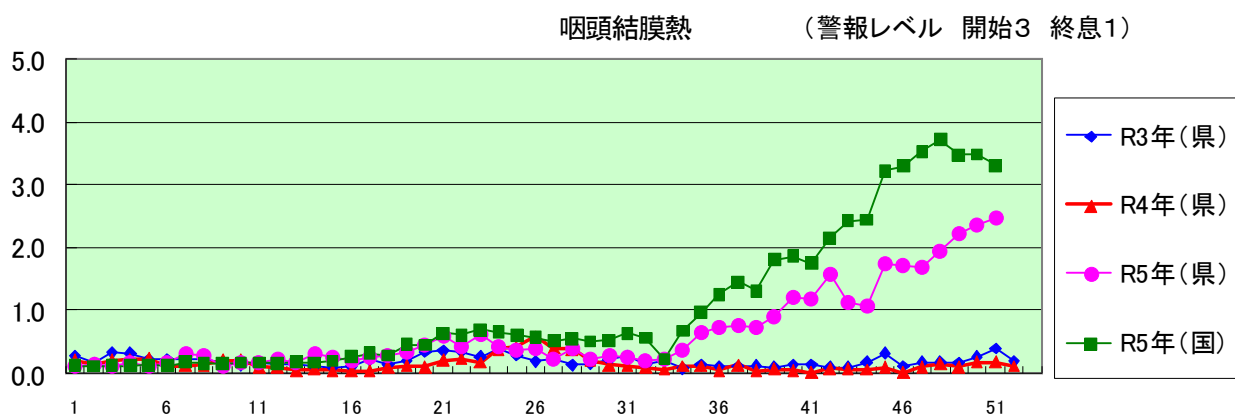
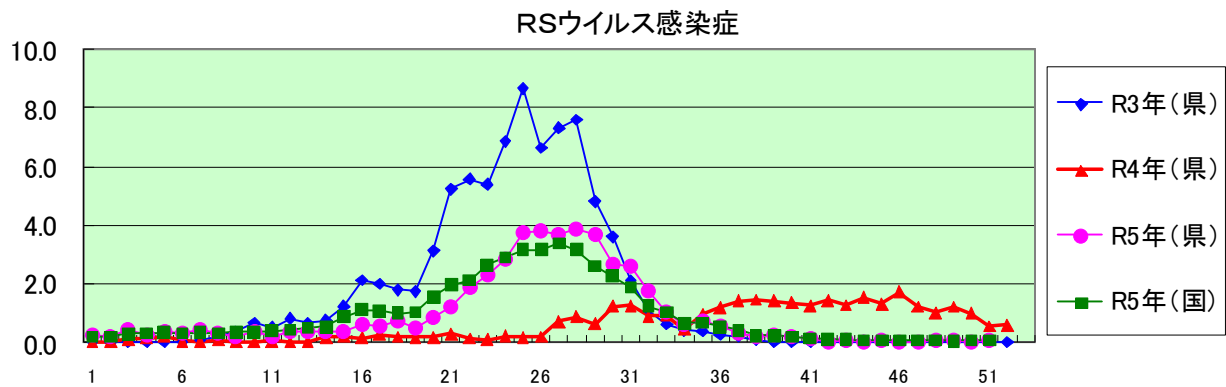
2023年 51 週

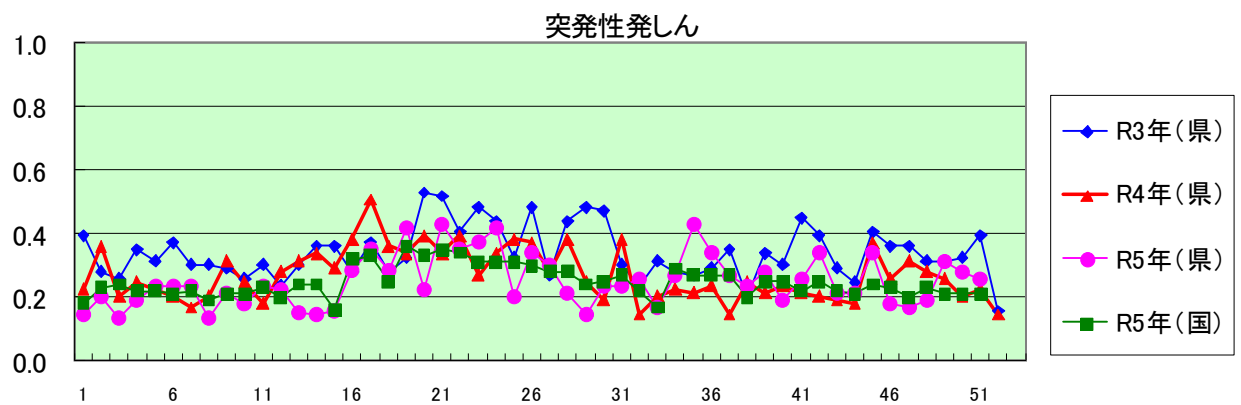
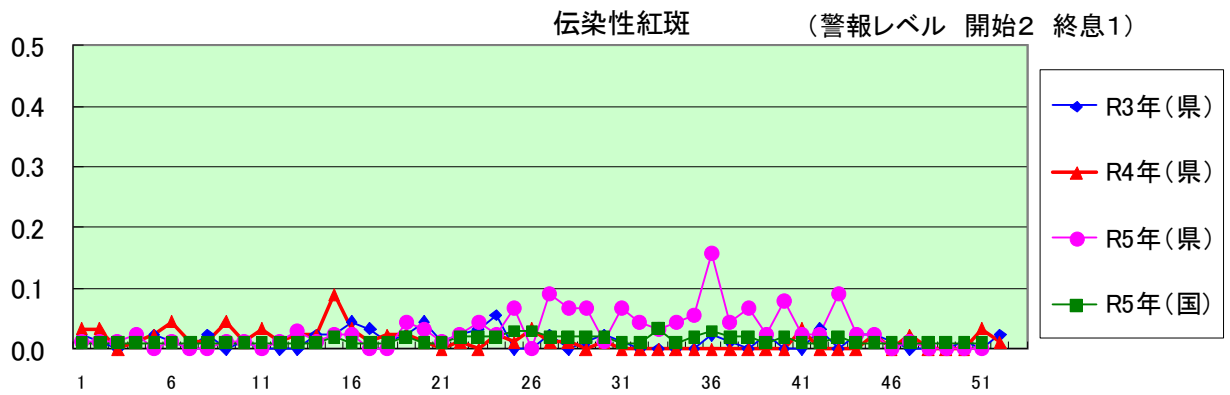
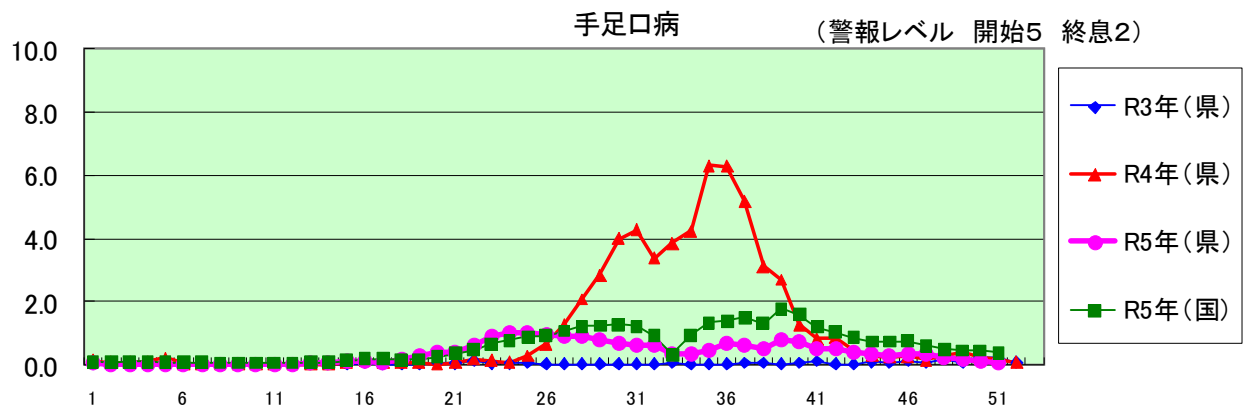
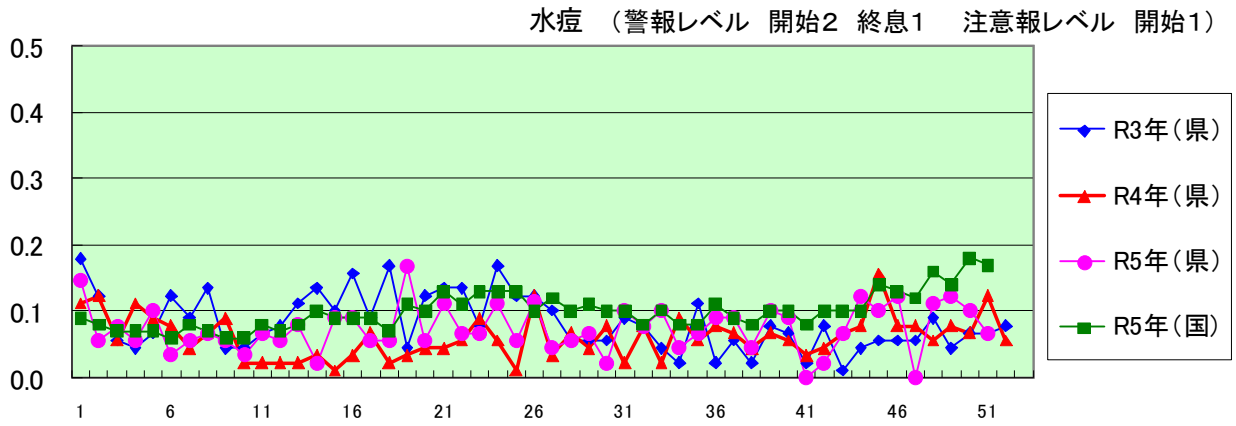
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	3		2		1	1					1										8
咽頭結膜熱	1	1	24	23	42	37	35	22	9	12	4	5	1	5							221
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	6	23	21	41	45	45	43	33	30	51	6	16							362
感染性胃腸炎	3	24	98	83	76	73	74	50	37	39	27	43	8	26							661
水痘				1			3		1	1											6
手足口病		1		2	1	2	1					1									8
伝染性紅斑																					
突発性発しん		6	8	3	2	3	1														23
ヘルパンギーナ				3	1	1															5
流行性耳下腺炎								1				2		1							4
インフルエンザ	8	20	70	83	108	145	180	168	185	169	174	577	223	129	163	185	106	62	43	34	2,832
新型コロナウイルス感染症	9	6	13	14	13	10	15	12	6	5	5	52	33	61	61	78	65	46	36	56	596
急性出血性結膜炎																	1				1
流行性角結膜炎			1	1	1	1	1	2	1					3	6	5			1		23
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

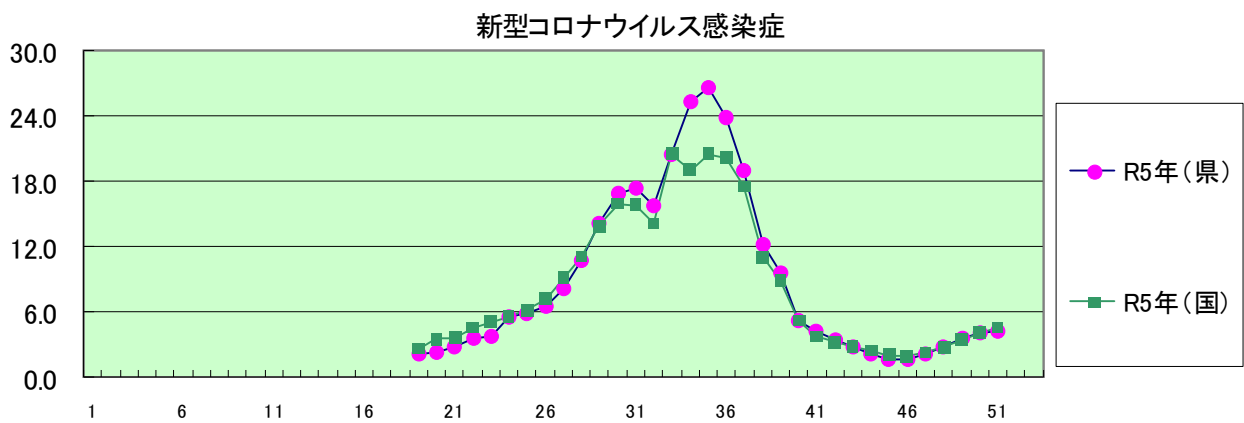
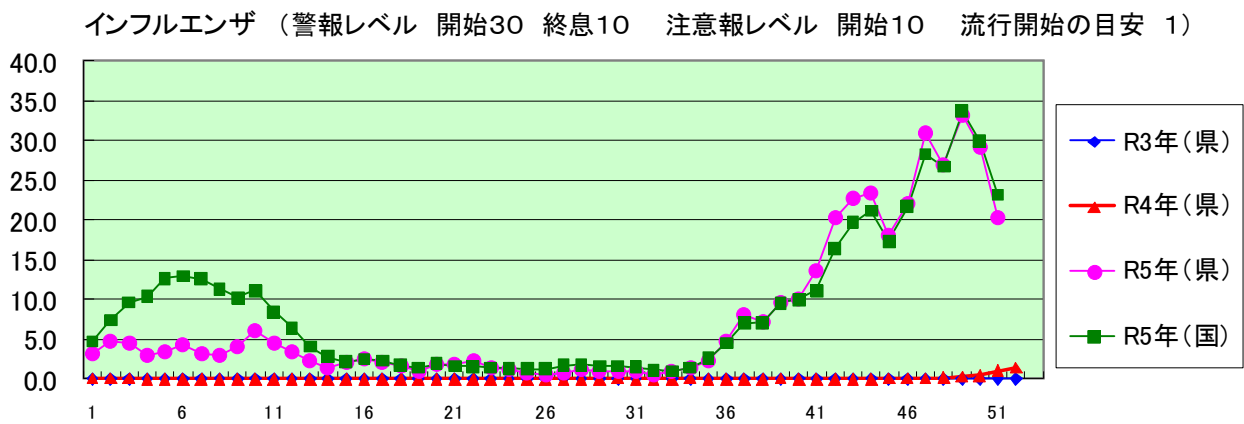
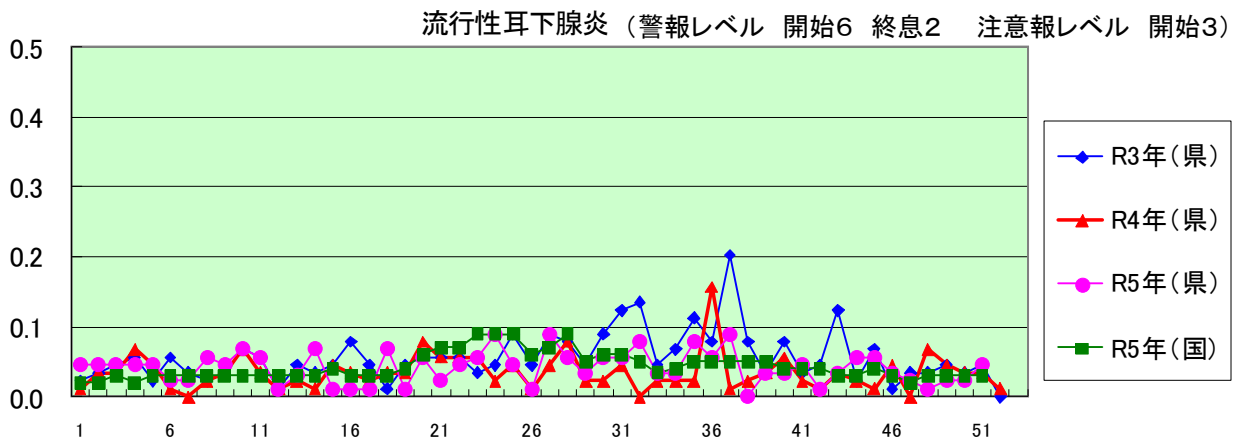
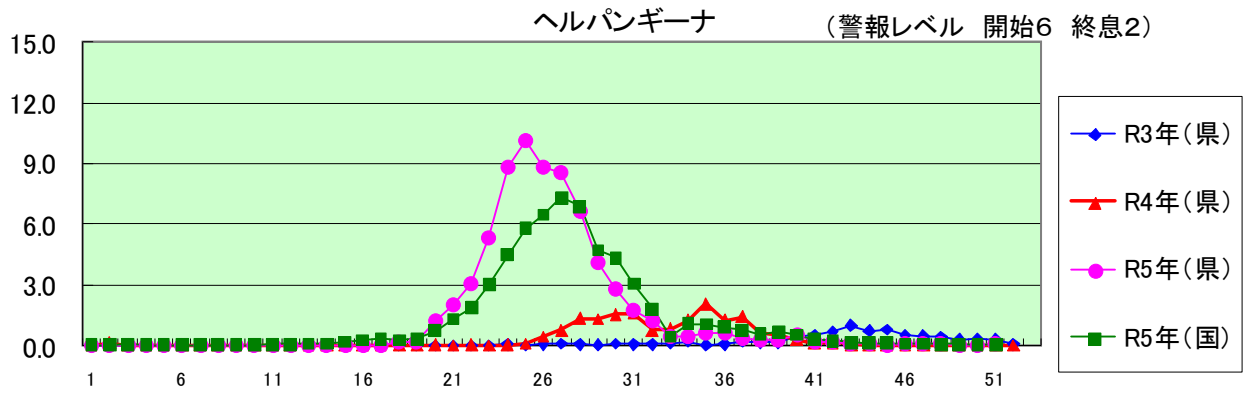
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 51 週

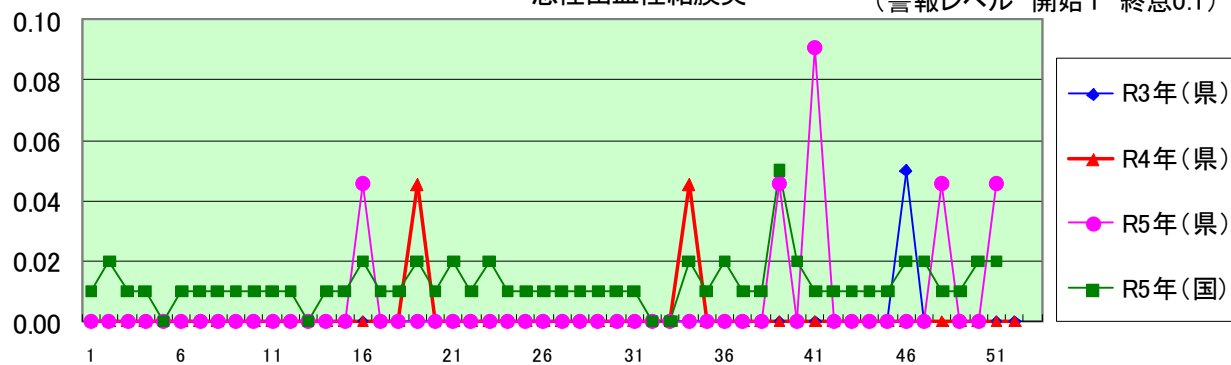
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.03		0.02		0.01	0.01					0.01										0.09
咽頭結膜熱	0.01	0.01	0.27	0.26	0.47	0.42	0.39	0.25	0.10	0.13	0.04	0.06	0.01	0.06							2.48
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.02	0.07	0.26	0.24	0.46	0.51	0.51	0.48	0.37	0.34	0.57	0.07	0.18							4.07
感染性胃腸炎	0.03	0.27	1.10	0.93	0.85	0.82	0.83	0.56	0.42	0.44	0.30	0.48	0.09	0.29							7.43
水痘				0.01			0.03		0.01	0.01											0.07
手足口病		0.01		0.02	0.01	0.02	0.01					0.01									0.09
伝染性紅斑																					
突発性発しん		0.07	0.09	0.03	0.02	0.03	0.01														0.26
ヘルパンギーナ				0.03	0.01	0.01															0.06
流行性耳下腺炎								0.01				0.02		0.01							0.04
インフルエンザ	0.06	0.14	0.50	0.60	0.78	1.04	1.29	1.21	1.33	1.22	1.25	4.15	1.60	0.93	1.17	1.33	0.76	0.45	0.31	0.24	20.37
新型コロナウイルス感染症	0.06	0.04	0.09	0.10	0.09	0.07	0.11	0.09	0.04	0.04	0.04	0.37	0.24	0.44	0.44	0.56	0.47	0.33	0.26	0.40	4.29
急性出血性結膜炎																	0.05				0.05
流行性角結膜炎			0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.09	0.05					0.14	0.27	0.23			0.05		1.05
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



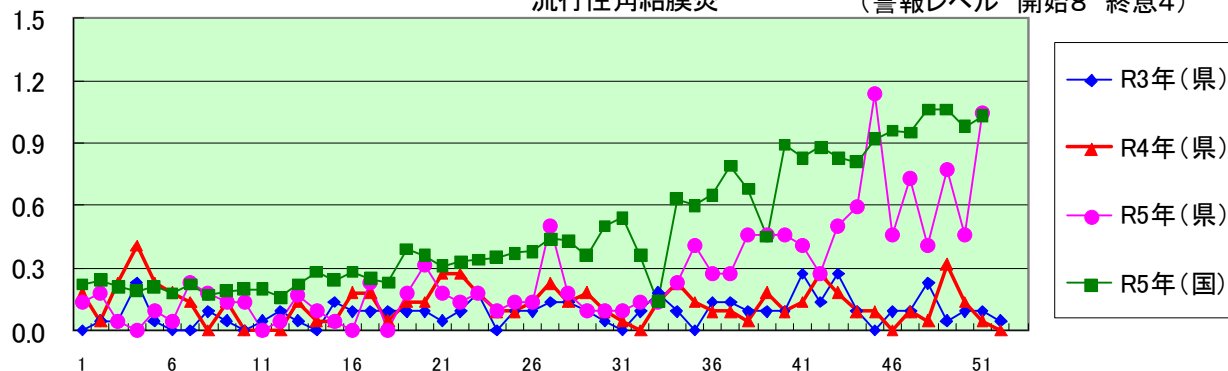




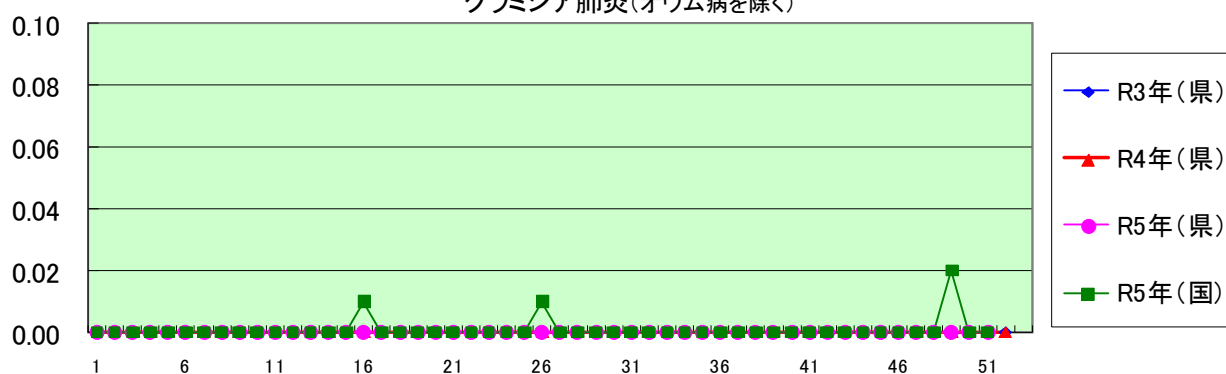
急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



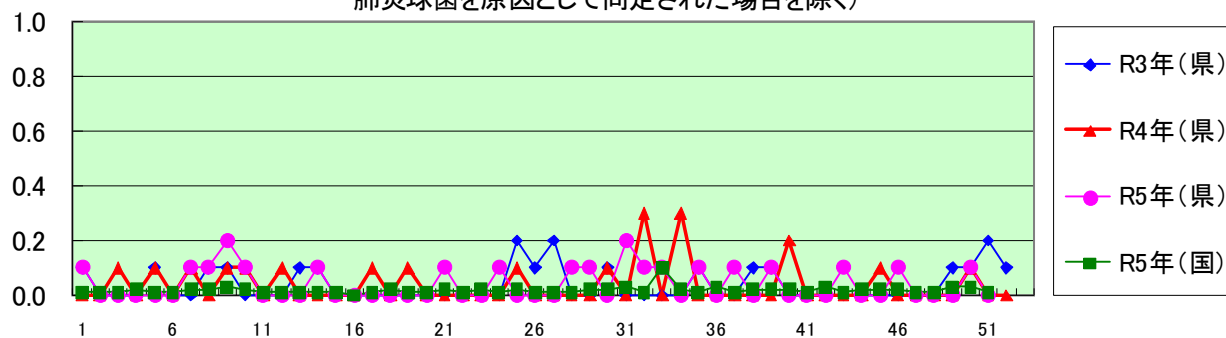
流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



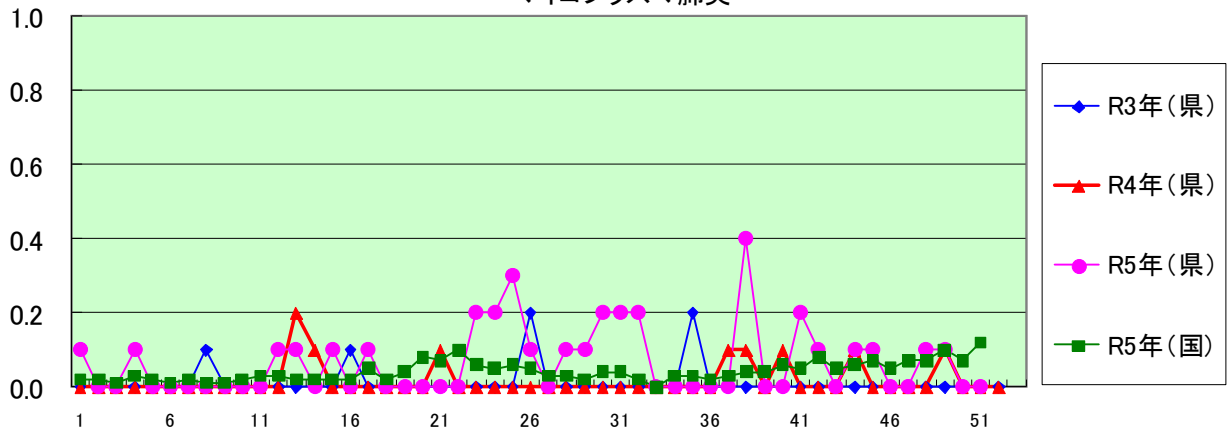
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



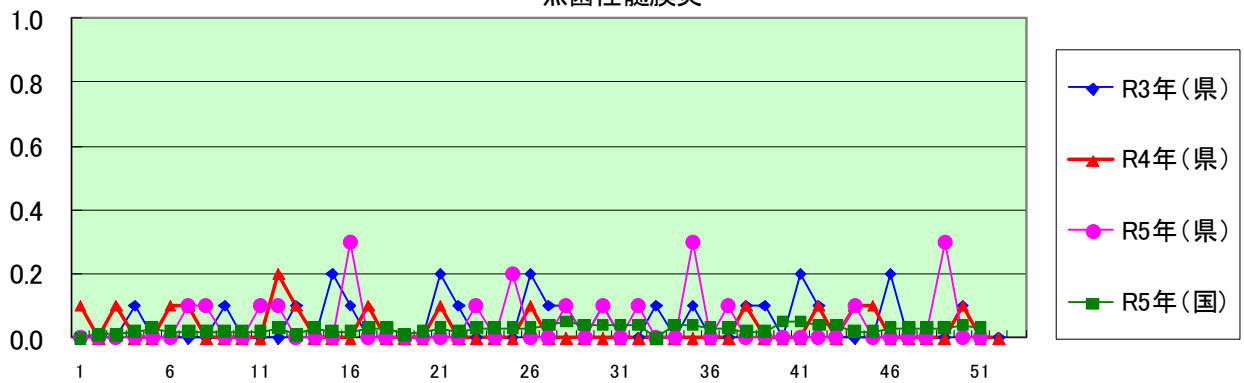
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



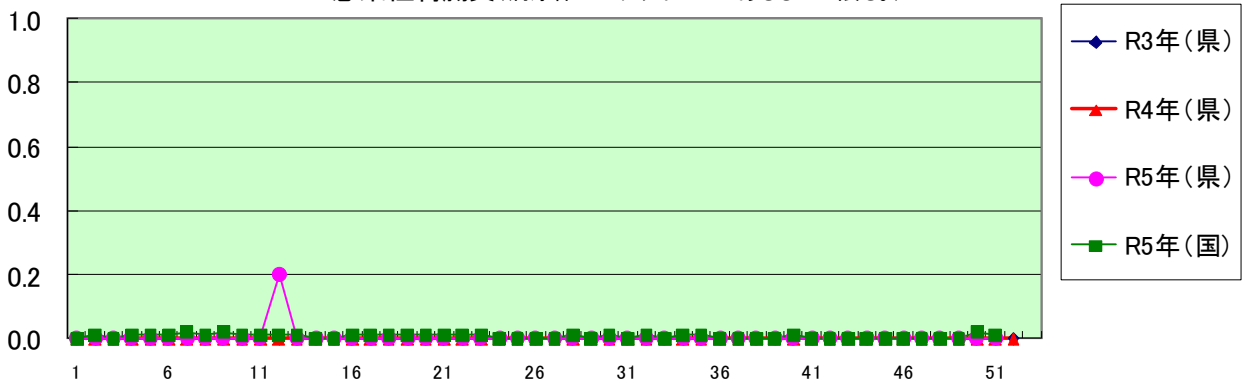
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 11 月

	静岡県							全国				
	6月	7月	8月	9月	10月	今月	計	8月	9月	10月	今月	計
性器クラミジア感染症	65	43	63	72	66	61	370	2,632	2,718	2,633	2,437	10,420
性器ヘルペスウイルス感染症	21	12	16	18	14	23	104	821	791	852	791	3,255
尖圭コンジローマ	6	18	17	15	11	15	82	529	482	559	528	2,098
淋菌感染症	25	16	16	20	15	11	103	827	810	815	823	3,275
性器クラミジア感染症(男)	25	12	30	23	22	22	134	1,375	1,385	1,325	1,141	5,226
性器クラミジア感染症(女)	40	31	33	49	44	39	236	1,257	1,333	1,308	1,296	5,194
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	9	7	4	4	7	9	40	300	284	323	280	1,187
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	5	12	14	7	14	64	521	507	529	511	2,068
尖圭コンジローマ(男)	1	5	7	10	6	8	37	352	308	364	343	1,367
尖圭コンジローマ(女)	5	13	10	5	5	7	45	177	174	195	185	731
淋菌感染症(男)	15	7	12	12	6	7	59	648	613	615	591	2,467
淋菌感染症(女)	10	9	4	8	9	4	44	179	197	200	232	808
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23	33	25	21	21	16	139	1,328	1,290	1,356	1,233	5,207
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								99	80	71	74	324
薬剤耐性緑膿菌感染症								8	8	6	5	27

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 11 月

	静岡県						全国			
	6月	7月	8月	9月	10月	今月	8月	9月	10月	今月
性器クラミジア感染症	2.17	1.43	2.10	2.40	2.20	2.03	2.68	2.78	2.69	2.59
性器ヘルペスウイルス感染症	0.70	0.40	0.53	0.60	0.47	0.77	0.84	0.81	0.87	0.81
尖圭コンジローマ	0.20	0.60	0.57	0.50	0.37	0.50	0.54	0.49	0.57	0.54
淋菌感染症	0.83	0.53	0.53	0.67	0.50	0.37	0.84	0.83	0.83	0.84
性器クラミジア感染症(男)	0.83	0.40	1.00	0.77	0.73	0.73	1.40	1.42	1.35	1.27
性器クラミジア感染症(女)	1.33	1.03	1.10	1.63	1.47	1.30	1.28	1.37	1.34	1.32
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.30	0.23	0.13	0.13	0.23	0.30	0.31	0.29	0.33	0.29
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.17	0.40	0.47	0.23	0.47	0.53	0.52	0.54	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.03	0.17	0.23	0.33	0.20	0.27	0.36	0.32	0.37	0.35
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.43	0.33	0.17	0.17	0.23	0.18	0.18	0.20	0.19
淋菌感染症(男)	0.50	0.23	0.40	0.37	0.20	0.23	0.66	0.63	0.63	0.60
淋菌感染症(女)	0.33	0.30	0.13	0.27	0.30	0.13	0.18	0.20	0.20	0.24
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.30	3.30	2.50	2.10	2.10	1.60	2.79	2.69	2.83	2.58
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.21	0.17	0.15	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 11 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	23	0.77	15	0.50	11	0.37
賀茂								
熱海	2	2.00	2	2.00				
東部	4	0.80					1	0.20
御殿場	3	3.00	1	1.00				
富士	5	1.67	4	1.33	1	0.33		
静岡市	22	3.67	11	1.83	8	1.33	6	1.00
中部	6	1.50	2	0.50	1	0.25		
西部	16	3.20	3	0.60	1	0.20	3	0.60
浜松市	3	0.60			4	0.80	1	0.20

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	16	1.60	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	1	1.00				
御殿場						
富士	1	1.00				
静岡市	7	3.50				
中部						
西部	3	3.00				
浜松市	2	1.00				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 11 月

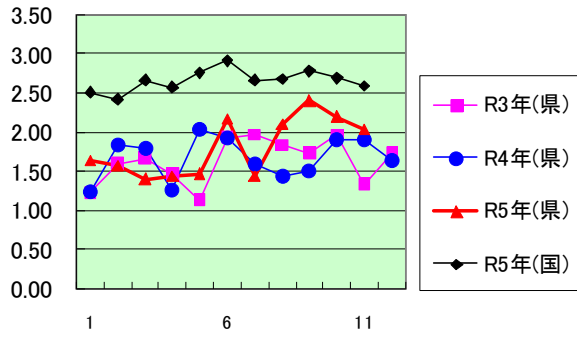
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					6	19	15	8	4	4	1	2	2				61
性器ヘルペスウイルス感染症					2	6	2	3		3	4	1		1		1	23
尖圭コンジローマ					1	2	3	1		3	2	1	1	1			15
淋菌感染症					1	3		1		3	2	1					11
性器クラミジア感染症(男)					2	6	3	2	2	2	1	2	2				22
性器クラミジア感染症(女)					4	13	12	6	2	2							39
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						3	1	2		1	2						9
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					2	3	1	1		2	2	1		1		1	14
尖圭コンジローマ(男)						1	2			2		1	1	1			8
尖圭コンジローマ(女)					1	1	1	1		1	2						7
淋菌感染症(男)					1	1				2	2	1					7
淋菌感染症(女)						2		1		1							4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1		1	1		1		1	1	10	16
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

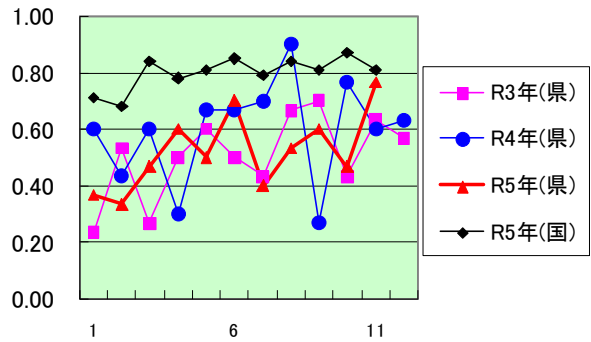
2023年 11 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.20	0.63	0.50	0.27	0.13	0.13	0.03	0.07	0.07				2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.07	0.20	0.07	0.10		0.10	0.13	0.03		0.03		0.03	0.77
尖圭コンジローマ					0.03	0.07	0.10	0.03		0.10	0.07	0.03	0.03	0.03			0.50
淋菌感染症					0.03	0.10		0.03		0.10	0.07	0.03					0.37
性器クラミジア感染症(男)					0.07	0.20	0.10	0.07	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07				0.73
性器クラミジア感染症(女)					0.13	0.43	0.40	0.20	0.07	0.07							1.30
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.10	0.03	0.07		0.03	0.07						0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.07	0.10	0.03	0.03		0.07	0.07	0.03		0.03		0.03	0.47
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.07			0.07		0.03	0.03	0.03			0.27
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.03	0.03	0.03		0.03	0.07						0.23
淋菌感染症(男)					0.03	0.03				0.07	0.07	0.03					0.23
淋菌感染症(女)						0.07		0.03		0.03							0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10		0.10	0.10		0.10		0.10	0.10	1.00	1.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

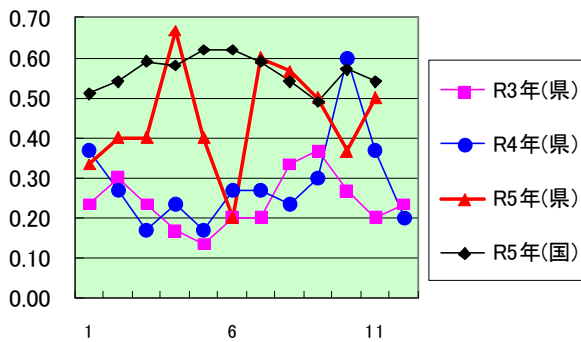
性器クラミジア感染症



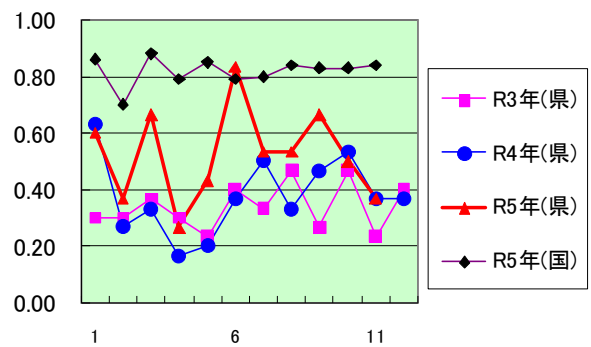
性器ヘルペスウイルス感染症



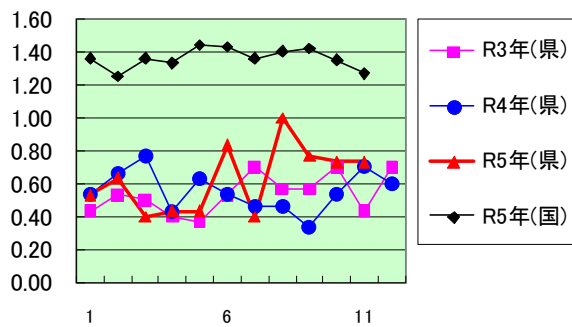
尖圭コンジローマ



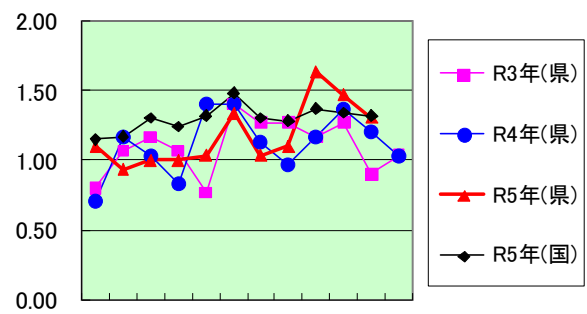
淋菌感染症



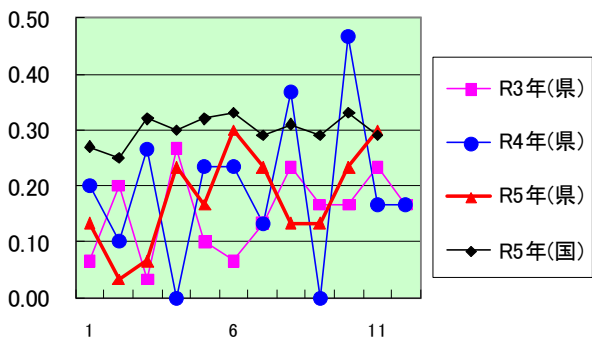
性器クラミジア感染症(男)



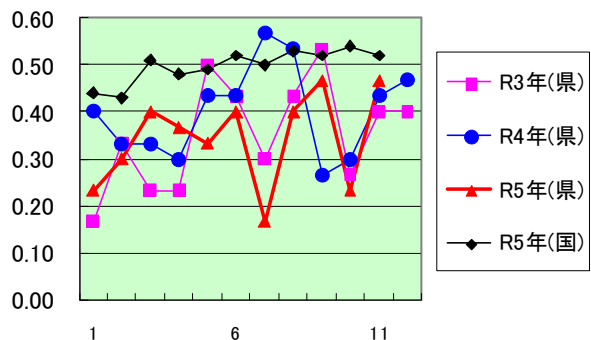
性器クラミジア感染症(女)



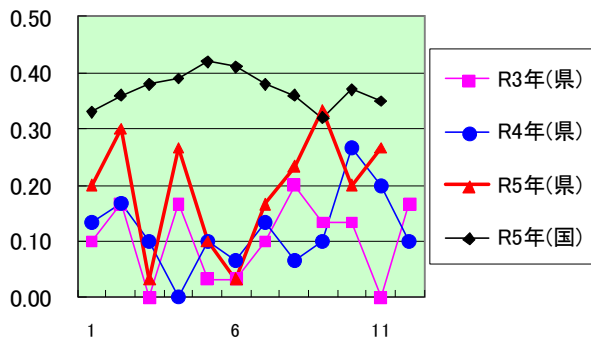
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



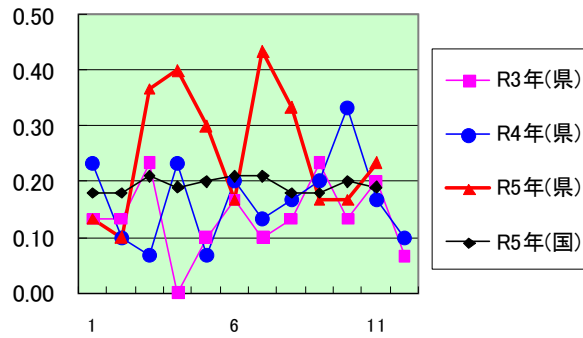
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



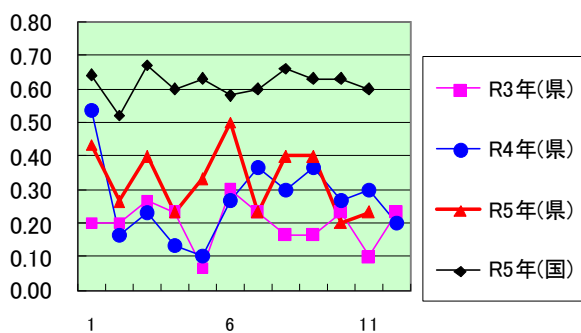
尖圭コンジローマ(男)



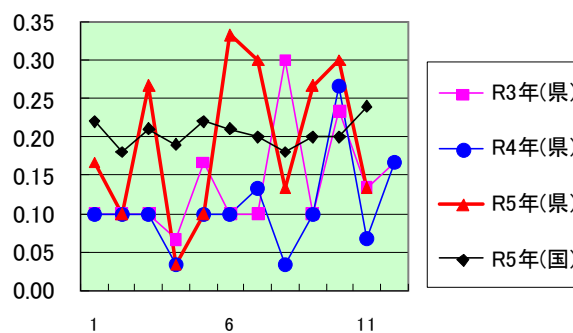
尖圭コンジローマ(女)



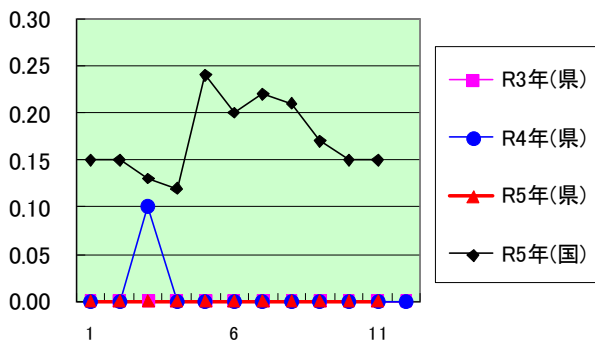
淋菌感染症(男)



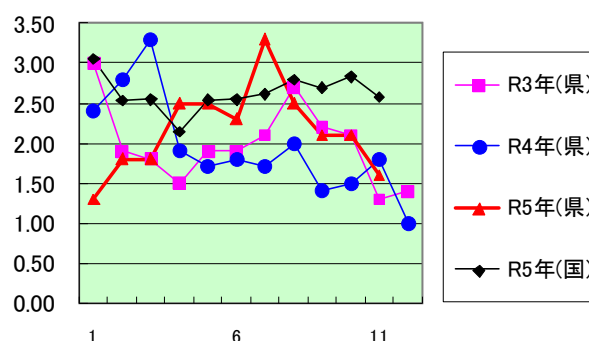
淋菌感染症(女)



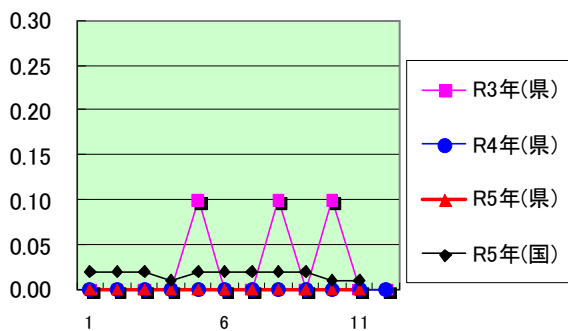
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

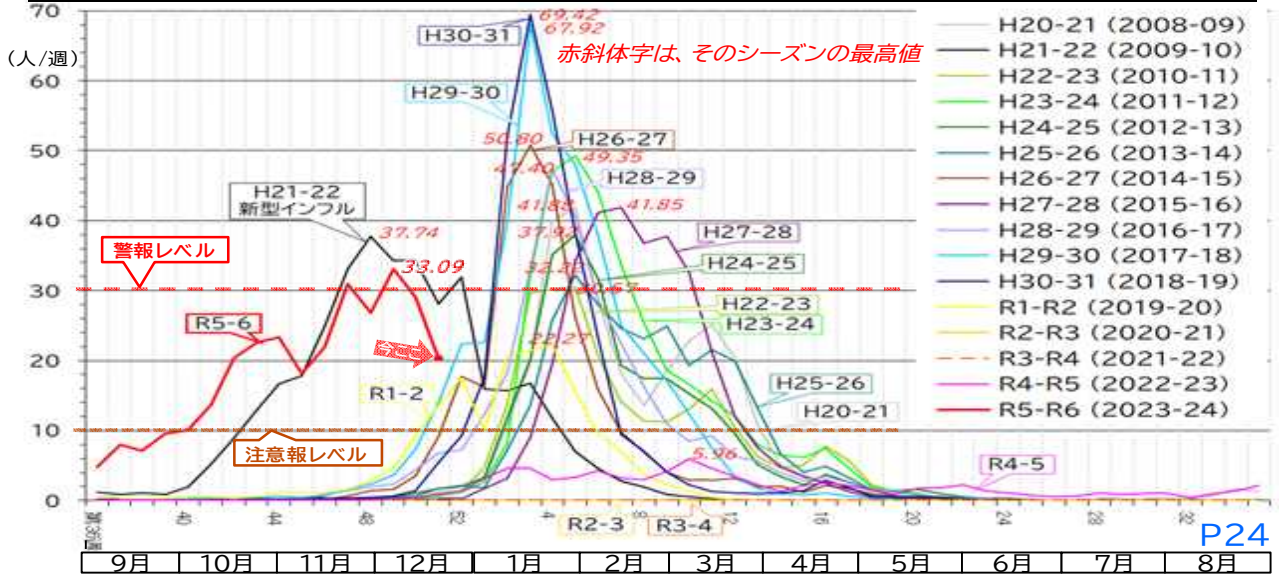


薬剤耐性緑膿菌感染症



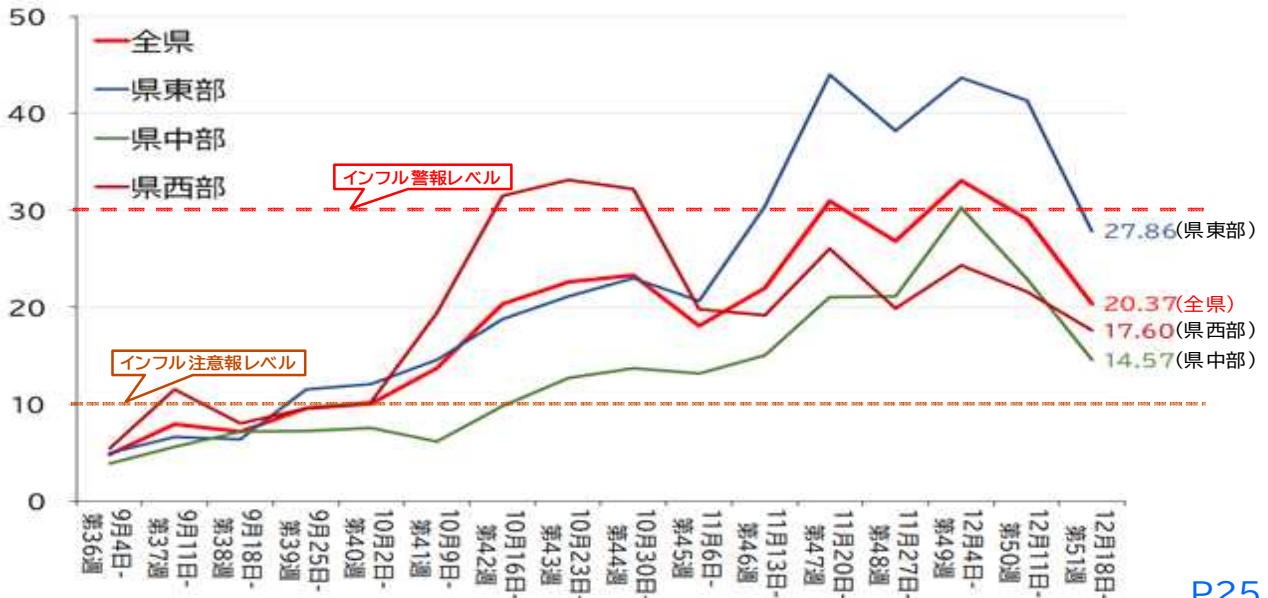
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 過去16シーズンの比較



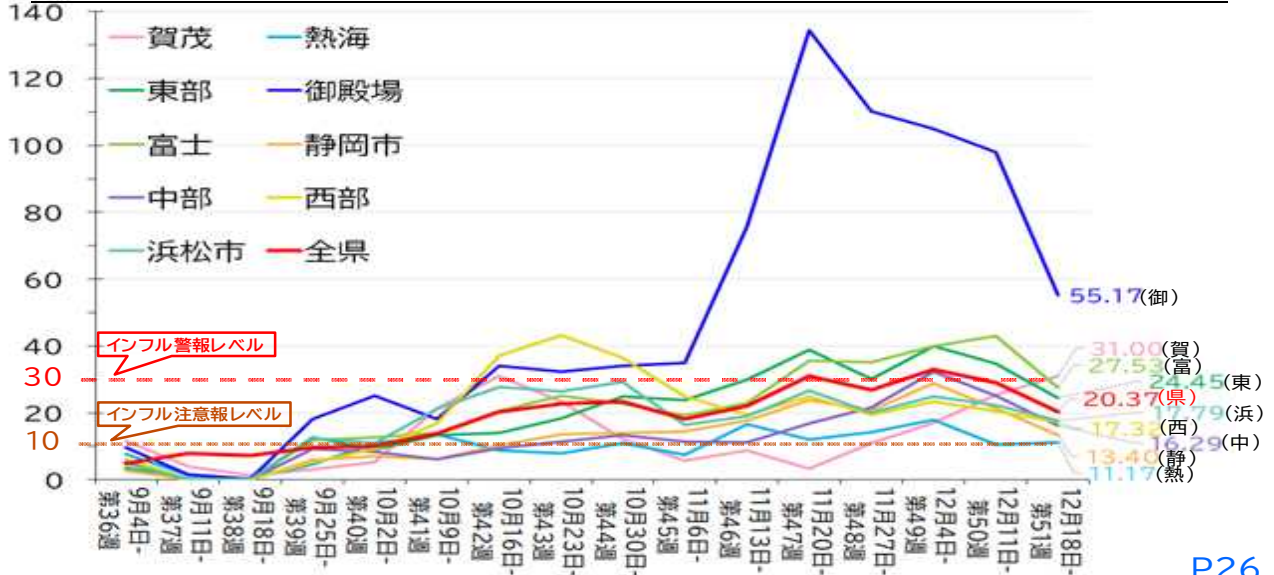
P24

静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(12/24まで)



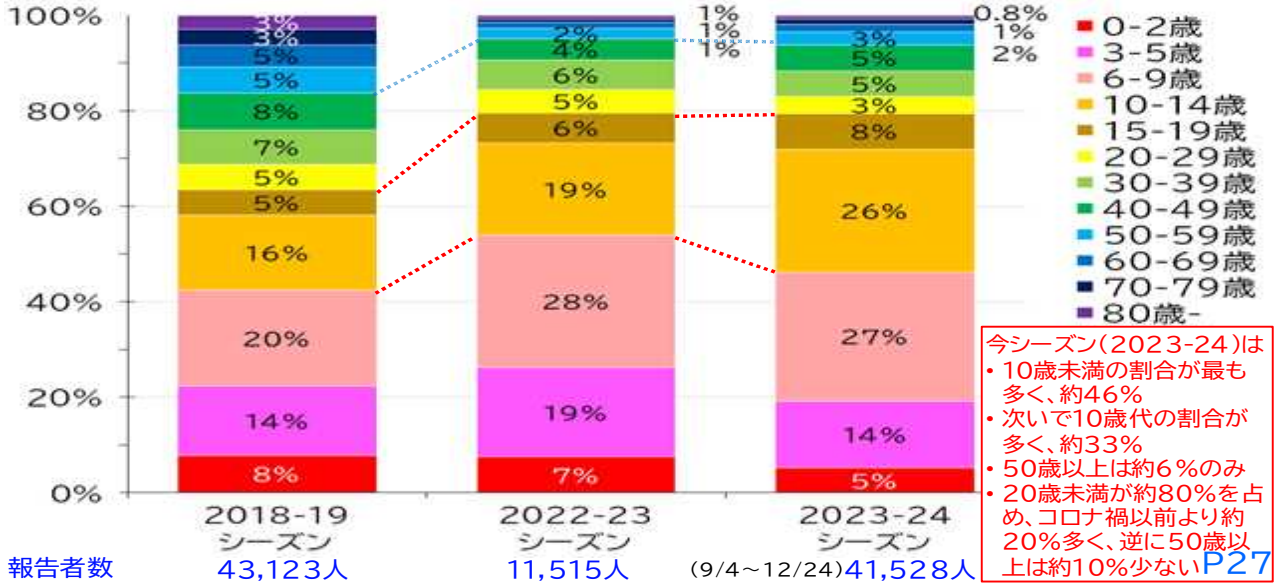
P25

静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(12/24まで)

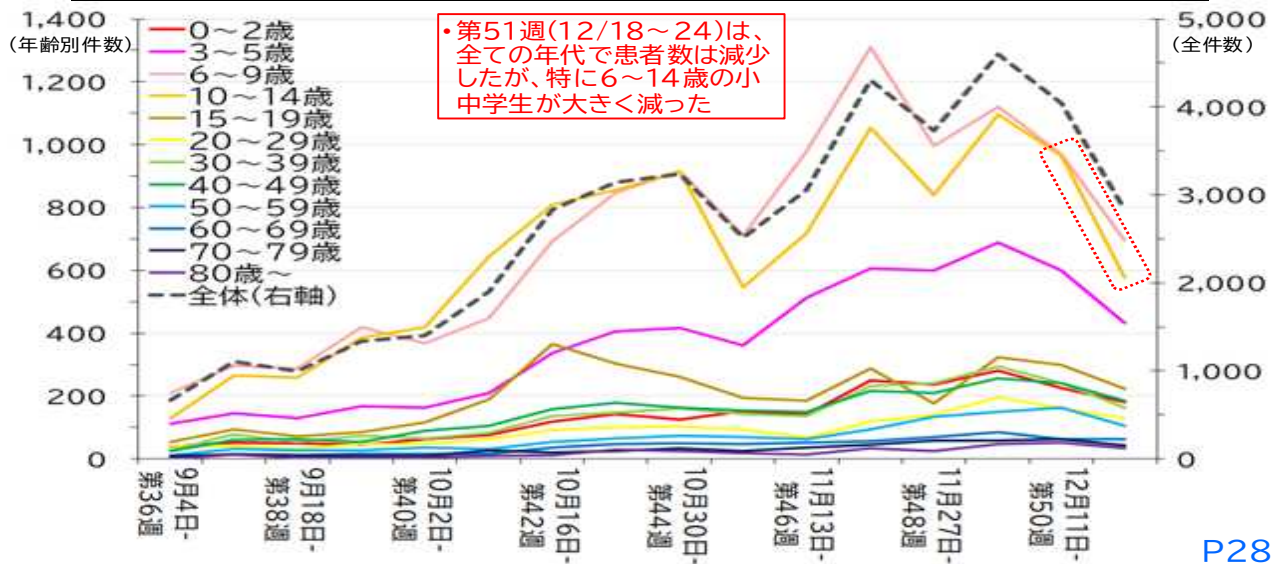


P26

静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)

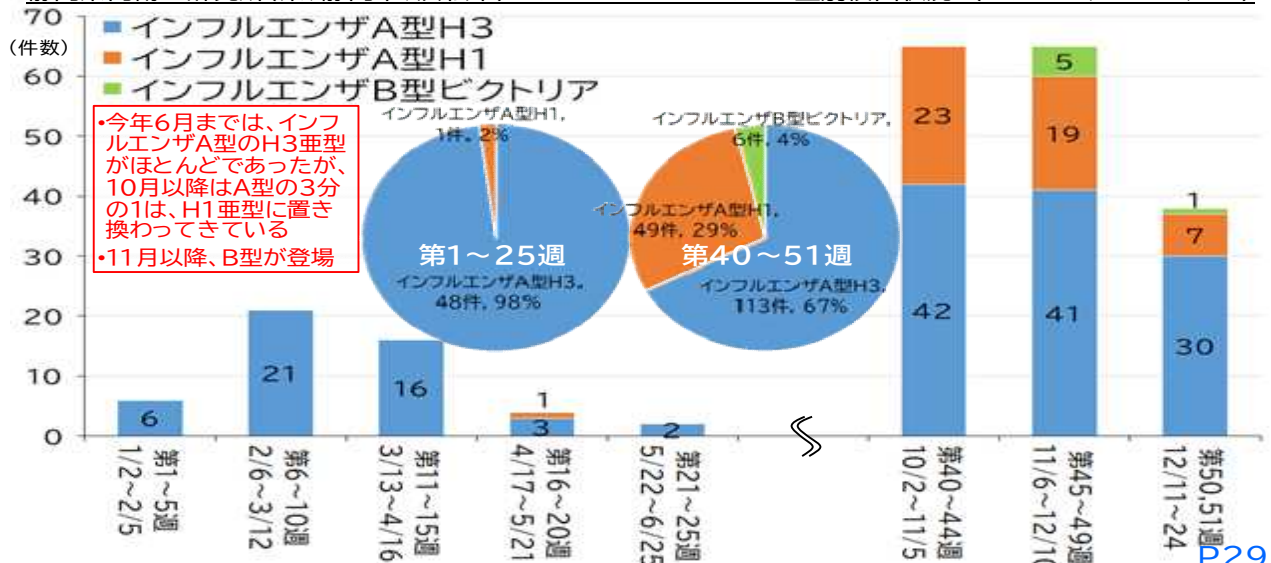


静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(12/24まで)



P28

静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~12/24)



P29

<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

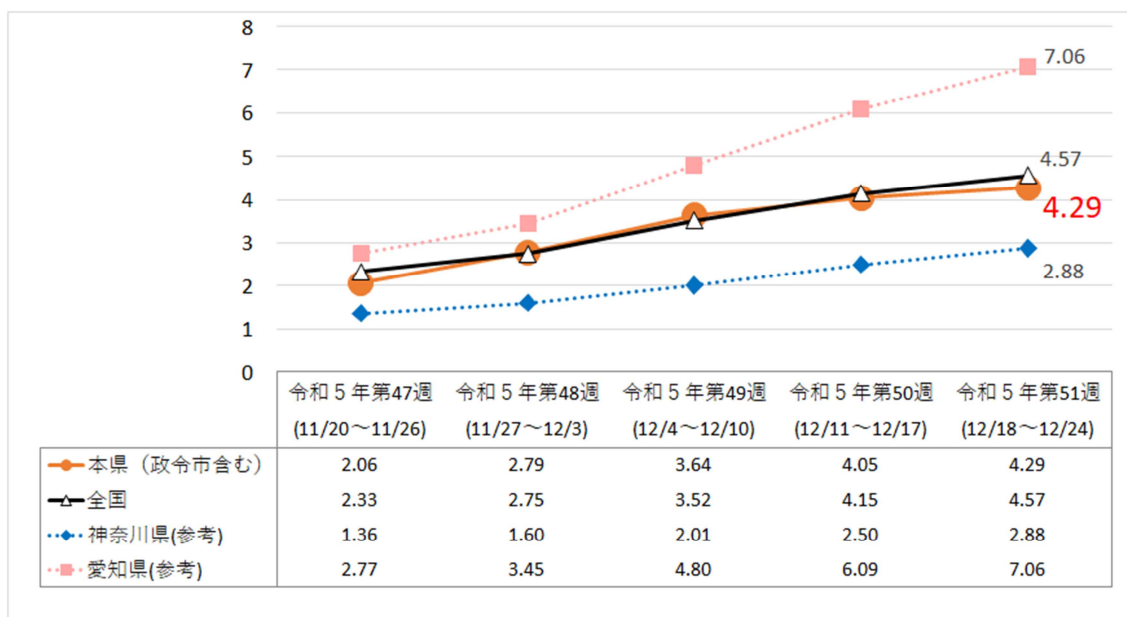
新型コロナウイルス感染症について

令和5年第51週（令和5年12月18日～12月24日）

★令和5年第51週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は4.29人/週で、前週(4.05人/週)に比べて増加しています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された患者数は596人で、前週(563人)に比べて1.06倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約3,800人(1日平均約500人)と推計されます。
- ・感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第51週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の患者数 (B)	定点医療機関 当たりの患者数 (B/A)	県独自の 注意報 レベル※	県独自の 警報 レベル※	
県東部地域	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、 南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	9	3.00	13以上	26以上
	熱海	熱海市、伊東市	6	50	8.33	9以上	18以上
	東部	沼津市、三島市、裾野市、 伊豆市、伊豆の国市、函南町、 清水町、長泉町	20	37	1.85	8以上	16以上
	御殿場	御殿場市、小山町	6	74	12.33	17以上	34以上
	富士	富士市、富士宮市	15	83	5.53	11以上	22以上
県東部地域		50	253	5.06	10以上	20以上	
県中部地域	静岡市	静岡市	25	61	2.44	6以上	12以上
	中部	島田市、焼津市、藤枝市、 牧之原市、吉田町、川根本町	17	54	3.18	8以上	16以上
	県中部地域		42	115	2.74	7以上	14以上
県西部地域	西部	磐田市、掛川市、袋井市、 御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	136	7.16	10以上	20以上
	浜松市	浜松市	28	92	3.29	7以上	14以上
	県西部地域		47	228	4.85	8以上	16以上
県全体		139	596	4.29	8以上	16以上	

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第47週 (11/20~11/26)	第48週 (11/27~12/3)	第49週 (12/4~12/10)	第50週 (12/11~12/17)	第51週 (12/18~12/24)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	2.67	2.33	1.67	2.67	3.00	↓ ↓ ↑ ↑
	熱海	2.50	2.33	6.67	7.67	8.33	↓ ↑ ↑ ↑
	東部	0.80	1.45	2.25	2.40	1.85	↑ ↑ ↑ ↓
	御殿場	8.17	18.83	9.33	13.17	12.33	↑ ↓ ↑ ↓
	富士	3.93	2.73	4.60	5.93	5.53	↓ ↑ ↑ ↓
県東部地域		2.94	4.08	4.30	5.40	5.06	↑ ↑ ↑ ↓
県中部地域	静岡市	0.88	1.52	2.20	2.32	2.44	↑ ↑ ↑ ↑
	中部	2.53	2.88	2.59	2.94	3.18	↑ ↓ ↑ ↑
県中部地域		1.55	2.07	2.36	2.57	2.74	↑ ↑ ↑ ↑
県西部地域	西部	1.79	2.53	5.37	5.58	7.16	↑ ↑ ↑ ↑
	浜松市	1.46	1.75	3.21	2.82	3.29	↑ ↑ ↓ ↑
県西部地域		1.60	2.06	4.09	3.94	4.85	↑ ↑ ↓ ↑
県全体		2.06	2.79	3.64	4.05	4.29	↑ ↑ ↑ ↑

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
4.29	
—	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
5.06		2.74		4.85	
—		—		—	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
3.00	8.33	1.85	12.33	5.53
—	—	—	—	—

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
2.44	3.18	7.16	3.29
—	—	—	—

<県民の皆様へ>

新型コロナ患者数は少ない水準ですが、増加傾向です。以下の点に御留意ください。

- ① 症状(咳・熱・のど痛)が出た時は、忘年会、新年会、親類・友人等の集まりには参加せず、自宅で療養を
- ② 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ③ 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ④ 重症化等のリスクを下げるため、新型コロナやインフルのワクチン接種を検討

なお、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	9	0.335	-
	熱海	50	0.268	-
	東部	37	0.150	-
	御殿場	74	0.505	-
	富士	83	0.215	-
県東部地域		253	0.221	1145
	静岡市	61	0.109	-
	中部	54	0.154	-
	県中部地域	115	0.125	920
	西部	136	0.166	-
	浜松市	92	0.117	-
	県西部地域	228	0.134	1701
県全体		596	0.158	3772

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

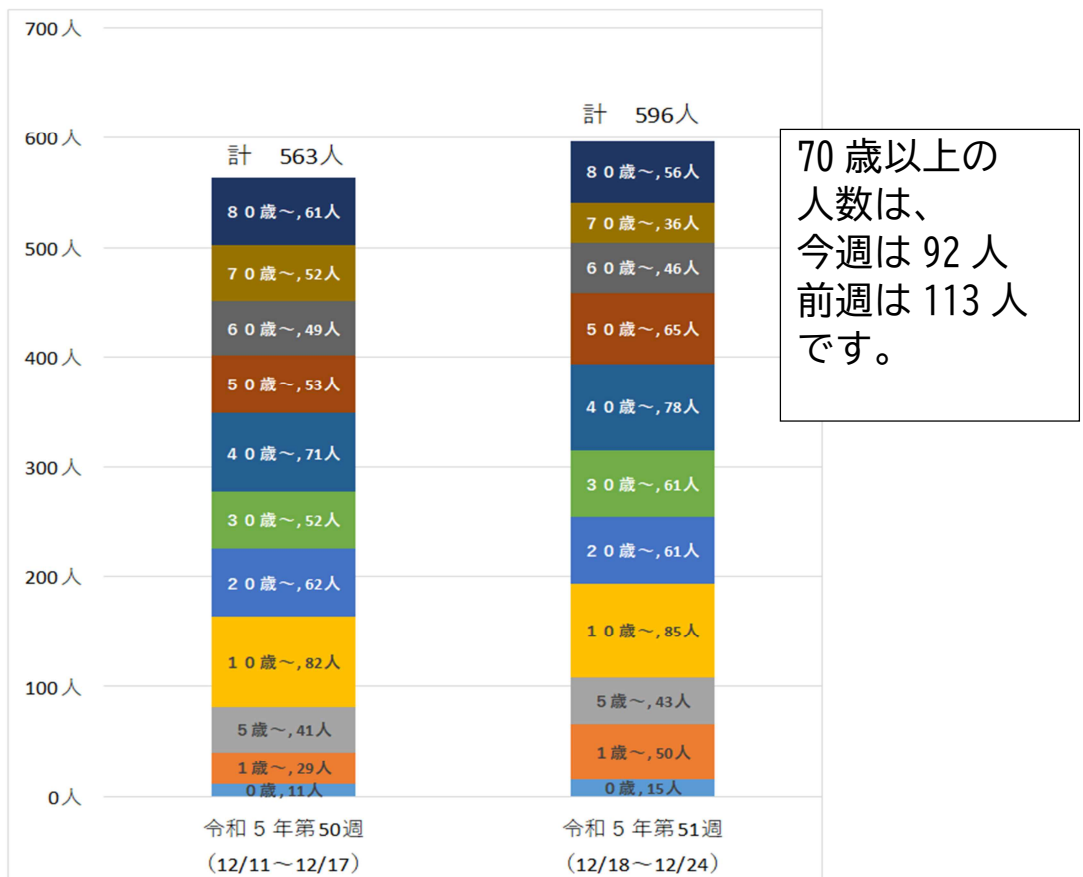
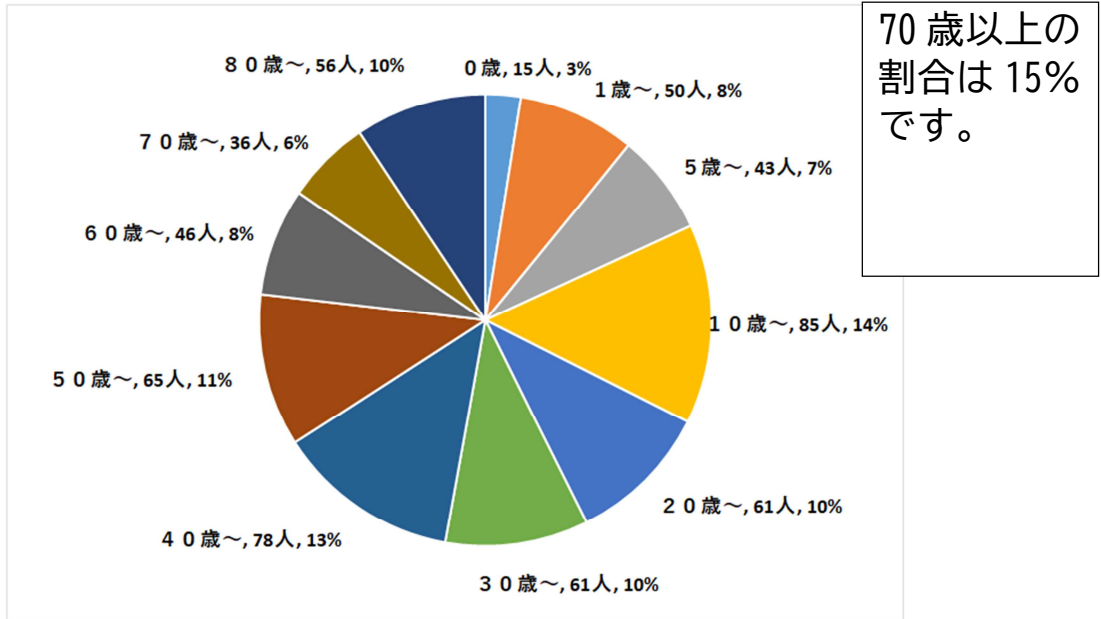
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $596 \div 0.158 = 3,772$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
15人	50人	43人	85人	61人	61人	78人	65人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
46人	36人	56人	0人	596人



7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第47週 (11/20～11/26)	49,234	597,042	16.43%	16.49%	29,290	429,016	38.90%	40.83%
令和5年第48週 (11/27～12/3)	49,240	646,282	17.79%	17.73%	30,070	459,086	41.62%	43.57%
令和5年第49週 (12/4～12/10)	37,383	683,665	18.81%	18.73%	23,763	482,849	43.78%	45.76%
令和5年第50週 (12/11～12/17)	31,186	714,851	19.67%	19.61%	18,101	500,950	45.42%	47.64%
令和5年第51週 (12/18～12/24)	27,689	742,540	20.43%	20.29%	15,167	516,117	46.79%	49.06%

令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日開始

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり)
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの(接種の努力義務なし)

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン(ファイザー社、モデルナ社及び第一三共社) 前回接種から3か月以上経過
- ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過(令和5年12月25日まで使用)

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。(本日は、12月11日(月)～12月24日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について(政令市除く)

11月下旬～12月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日:12月19日(火))

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	3	0	0	0	1	4
	(内BA.2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)

8-2 本県の変異株の判明状況（12月24日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,563	5,992	2,361	2,210
	(前回からの増加数)	(13)	(4)	(5)	(4)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	8,152	4,736	1,713	1,703
	(前回からの増加数)	(13)	(4)	(5)	(4)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,433	669	433	331
	(前回からの増加数)	(3)	(2)	(1)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	730	427	99	204
	(前回からの増加数)	(10)	(2)	(4)	(4)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（12月24日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
9月18日(月)～ 10月1日(日)	131	1	2	128	0.8%	1.5%	97.7%
10月2日(月)～ 10月15日(日)	57	1	1	55	1.8%	1.8%	96.5%
10月16日(月)～ 10月29日(日)	23	0	0	23	0.0%	0.0%	100.0%
10月30日(月)～ 11月12日(日)	3	0	0	3	0.0%	0.0%	100.0%
11月13日(月)～ 11月26日(日)	10	0	0	10	0.0%	0.0%	100.0%
11月27日(月)～ 12月10日(日)	7	0	0	7	0.0%	0.0%	100.0%
12月11日(月)～ 12月24日(日)	13	3	0	10	23.1%	0.0%	76.9%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （12月11日～12月24日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	9	69. 2%
BA. 2. 86	3	23. 1%
その他	1	7. 7%
計	13	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」及び「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2. 86 系統について 第2報」において、「ウイルス学的、疫学的、臨床的知見、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）